

平成26年度「放課後子ども教室（人権フォーラム）」取組の概要

市町村名	学校名等
橿原市	橿原市畝傍北小学校

① 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

ひまわり学級は、1974年にスタートしました。当時は、厳しい部落差別の結果、学校にもなかなか通えず、学習の保障も十分されない子どもたちの実状があったのですが、地域の運動体や親や教職員の運動によって「同和教育補充学級」ができました。そこでは、差別をしっかりと見抜き、差別をゆるさず、はねかえしていける力をつけられるような学習を続けてきました。そして、太陽に向かって大きな花を咲かせるひまわりのように、差別や戦争がない、ひとりひとりの命が生き生きと輝く世の中を作っていこうという願いを込めて“ひまわり学級”という名前に替わりました。現在では「差別をなくす学習は、差別される立場の者だけが学ぶのではない」という考えに立って、希望すれば誰でも学べるひまわり学級として今日にいたっています。

② 特徴的な取組の概要

4年生では、大久保町にある生国魂（いくたま）神社で見つけた石碑に書かれてある内容に着目しました。辞書を片手に調べていくうちに、どうやら洞（ほら）の池について書かれてあることがわかりました。洞の池って何だろうということで、おおくぼまちづくり館でお話を聞きました。そして、昔、畝傍山にあった洞村が移転して、今の久保町になったということがわかりました。

畝傍山へ行って洞村の跡や洞池にも行きました。確かにそこには生活の跡がありました。そのとき、生国魂神社にあった絵に気づきました。それは、昔まだ洞村があったころに描かれた畝傍山の絵です。みんなで力を合わせて、その絵を模写することにしました。



おおくぼまちづくり館でお話を聞きました



昔の洞村の絵をかいています